

# 四万十町議会 定例会 行政報告

## ■新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルス感染症の国内の発生状況は、ゴールデンウィーク以降、徐々に減少していますが、東京都のように再び増加に転じている地域もあり、依然として警戒しなければならぬ状況が続いています。そのような中、本町では、町民の皆さまの活動自粛等へのご理解とご協力により、現在までに1人の感染者も確認されておらず、また、高知県内においても4月29日以降に新たな感染者は確認されていません。

5月25日、国は新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を全て解除しました。この措置を受けて本町では、特措法に基づく市町村対策本部を独自設置の対策本部に移行するとともに、国・県が示す対応方針に基づく町としての対応方針を決定し、さまざまな対策を講じています。

新型コロナウイルス感染症については、その脅威が完全に払拭されておらず、日々、状況が変化しています。町としては今後も引き続き、町民の皆さまの安心・安全を第一に、不安解消や感染拡大の防止に向けて関係機関との連携を密にし、必要な対策を的確に行ってまいります。町民の皆さまには、これらの状況に鑑みまして、国の示す「新しい生活様式」の実践など、感染症予防に今後も取り組んでいただきますようお願い申し上げます。



次に、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、簡素な仕組みで迅速かつ的確な家計への支援を目的に取り組んでいる特別定額給付金について、現在の状況をご報告します。

この特別定額給付金は、令和2年4月27日現在において住民基本台帳に記録されている方1人につき10万円を支給するもので、受給者は各世帯主となっており、原則として申請者本人名義の銀行口座に振り込みとなります。本町では、5月1日からオンライン申請の受け付けを開始するとともに、5月8日に対象世帯へ申請書を発送し、5月22日から順次、給付金を振り込んでおり、6月4日現在の状況

は、対象となる約84,000世帯のうち78,96世帯が申請を完了し、申請率は94%となっています。なお、申請期限は8月10日としています。

また、特別給付金とは別に感染症拡大防止のため町独自で実施しました、ゴールデンウィーク期間中の休業要請に応じていただいた事業者への四万十町休業要請協力金の申請状況については、6月9日現在で、対象となる172事業者のうち169事業者が申請を完了しています。

## ■令和元年度 四万十町一般会計決算見込み

令和元年度の一般会計決算見込額は、歳入総額174億4,821万円、歳出総額168億3,608万円、歳入歳出差引額は6億1,213万円となり、このうち翌年度へ繰り越すべき財源1億3,296万円を差し引いた実質収支額は、4億7,917万円となっています。

現在、決算調整ならびに分析等を行っています。歳出の前年度比較では、地場産業振興センター加工場建設事業や吉見川浸水対策事業といった大規模施設の建設などに伴い、普通建設事業費が増加したことや公債費の繰上償還を実施したことなどから、平成30年度の決算額と比較して8億1,493万円・5.1%の増加となっており、歳入では、普通建設事業

費の増加に伴い、国・県支出金や町債が増加するなど、9億5,908万円・5.8%の増加となっています。

これらのうち、ふるさと納税制度に関する部分については、歳入のふるさと支援寄附金が9億5,841万円、前年度より1億9,546万円の減少となり、歳出のふるさと支援推進事業費も、返礼品率の引き下げなどによる影響で2億9,966万円の減少となっています。

町の預金にあたる積立基金残高は、ふるさと支援基金で8億2,370万円、公債費の繰上償還の財源として減債基金で1億8,950万円、その他で2億4,830万円、合わせて12億6,150万円を取り崩す一方、今後の各種事業等に必要な財源として、ふるさと支援基金で約9億6,830万円、その他で約5億8,500万円、合わせて14億7,680万円余りを積み立てた結果、前年度の決算剰余金処分による積立と合わせて3億9,330万円余り増加しています。

また、町の借金にあたる町債残高は、普通建設事業費の増加に伴い借入額が増加する一方、繰上償還の実施などにより、前年度末から44,500万円余り減少しています。

## ■本庁舎免震用 オイルダンパー交換工事

役場本庁西庁舎および東庁舎に設置

されたカヤバシステムマシナリー社製の免震用オイルダンパーについては、平成30年10月以降に東庁舎の2基と西庁舎の4基がデータ偽装による不正行為があると公表され、町民の皆さまには大変なご心配とご迷惑をお掛けしてきたところです。

その後、第三者機関による庁舎の全面の安全性の検証および確保に努めながら、早期の交換工事に向けてKYB株式会社、庁舎設計事務所などと調整してきた結果、本年4月に交換工事に着手し、5月15日に全ての工事が完了しましたので、ご報告します。

## ■四万十川ジップラインの オープン

十和地域のご成婚の森から道の駅四万十とおわ敷地内にかけて整備した四万十川ジップラインについては、当初、ゴールデンウィーク前のオープンに向けて準備していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、その時期を見送っていました。

このたび、高知県の方針により県内観光が再開され、6月19日以降は観光による他県との往来についても、首都圏の一部と北海道を除き徐々に再開されることから、6月21日にプレオープンを、6月27日にグランドオープンをいたします。オープン後は、道の駅や周辺の観光施設とも連携を図りながら、四万十町の西の玄関口の体験型観

光の要として、更なる観光客の増加、交流人口の拡大を目指します。

## ■国保十和診療所の医師の異動

国保十和診療所の豊崎医師については、1年3か月の間、十和地域のかかりつけ医としてご尽力をいただきましたが、本年6月末をもって退職されます。後任には、現在、四万十市立市民病院で内科副部長として勤務されている濱川公祐医師が、7月1日付で着任します。

濱川医師は、総合内科専門医、循環器専門医、プライマリ・ケア認定医・指導医などの地域医療に深く関わる資格のほか、日本DMAT隊員としての資格も取得されており、災害時の医療救護において医療チームの中核を担うことが期待されます。

依然として新型コロナウイルス感染症への警戒を継続しなければならぬ状況での体制変更となりますが、より一層の診療所間連携も行いながら、大正・十和地域の地域包括ケアシステムにおける医療部門の要として、地域の皆さまの期待に応えられる医療活動を展開し、その拡充に努めます。

町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 令和2年度 入 札 結 果 (令和2年5月実施分)

| 工 事 名 等                               | 落札業者名     | 工事場所等 | 契約金額 (円)   | 入札日  | 工 期       |
|---------------------------------------|-----------|-------|------------|------|-----------|
| 令和2年度 興津出張所新築工事設計監理委託業務               | 上澤設計事務所   | 興津    | 2,178,000  | 5/14 | 5/21~3/31 |
| 令和2年度 地振 第1号 四万十町道の駅とおわ産直市場改修工事(建築主体) | 岡本工務店     | 十和川口  | 5,027,000  | 5/21 | 5/28~7/31 |
| 令和2年度 住宅第1号 見付第1団地 排水側溝改修工事           | (有)三浦建設   | 見付    | 3,740,000  | 5/21 | 5/28~7/15 |
| 令和2年度 地場産業振興センター 食品加工施設改修工事(建築主体)     | (有)松井建築   | 平串    | 19,683,400 | 5/28 | 6/4~10/31 |
| 令和2年度 地場産業振興センター 食品加工施設改修工事(電気設備)     | 是信電設(株)   | 平串    | 6,490,000  | 5/28 | 6/4~10/31 |
| 令和2年度 地場産業振興センター 食品加工施設改修工事(機械設備)     | (株)日化住宅機器 | 平串    | 3,179,000  | 5/28 | 6/4~10/31 |

※この入札結果は、予定価格250万円以上の工事・委託業務についてのみ公表しています。  
契約金額は、消費税込みの金額。

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

## 5月 学校給食食材の放射能測定

|            | 検査期間   | セシウム134 | セシウム137 | ヨウ素131 |
|------------|--------|---------|---------|--------|
| 窪川学校給食センター | 5/7~13 | 不検出     | 不検出     | 不検出    |
| 大正学校給食センター | 5/7~13 | 不検出     | 不検出     | 不検出    |
| 十和学校給食センター | 5/7~13 | 不検出     | 不検出     | 不検出    |

実 施 日：令和2年5月27日  
検査機関：株式会社 日本食品エコロジー研究所  
食品分析センター

※不検出とは測定下限値未満(<1.0Bq/kg)であることを示しています。検査に使用する食材は、約1週間分の原材料(調味料を除く)です。一定量を混合試料にして検査します。